

平成18年 4月5日	農作物病害虫発生予報 4月	山口県病害虫防除所 山口県農業試験場
---------------	--------------------------------	-----------------------

～目次～

予報の概要	1
予報		
【主要病害虫】	2
【その他の病害虫】	5
病害虫・農薬情報		
循環型農業メモ	生物農薬を利用した水稻の種子消毒.....	6
参考	7

予報の概要

農作物名	病害虫名	予想発生量	現況	
			平年比	前年比
カンキツ	かいよう病	多	多	並
	そうか病	少	少	前年並
	ミカンハダニ	平年並	平年並	少
ナシ	黒斑病	平年並	平年並	多
果樹全般	カメムシ類	やや多	-	-
タマネギ	白色疫病	平年並	平年並	前年並
	べと病	平年並	平年並	少

作物	担当者
普通作	野崎(病害) 中川浩二(虫害)
果樹	藤村(病害) 殿河内(虫害)
野菜	岡田(病害) 岩本(虫害)
茶	中川浩二(病害虫)

お問い合わせ先	
TEL	(083) 927-4006
FAX	(083) 927-4071

予報

【主要病害虫】

カンキツ

1 かいよう病

(1) 予報内容

予想発生量	現 況		防除時期
	平年比	前年比	
多	多	並	開花前

(2) 予報の根拠

3月下旬の越冬病斑調査では、発生ほ場率は36.4%（平年19.5%）、発病葉率は6.0%（平年1.8%）で平年に比べ多かった（+）。

(3) 防除対策

< 耕種的防除 >

ア 病斑のある葉や枝の剪除を徹底する。

イ 強風による付傷を防ぐため、防風垣や防風ネットを整備する。

< 防除のポイント >

かいよう病にかかりやすい品種（アマナツ、イヨカン等）や前年発生の認められた園では、春葉への感染防止対策として開花前に薬剤防除を実施する。

なお、新梢伸長期にICボルドー66Dを散布すると、新梢に薬害が生じる恐れがあるので使用しない。

2 そうか病

(1) 予報内容

予想発生量	現 況		防除時期
	平年比	前年比	
少	少	前年並	発芽始め (新梢が1cmの頃)

(2) 予報の根拠

3月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は4.6%（平年12.0%）、発病葉率0.1%（平年0.4%）で平年に比べ少なかった（-）。

(3) 防除対策

< 防除判断 >

越冬病斑が散見されるほ場では、防除を必ず実施する。

< 防除のポイント >

ア 薬剤防除は新梢が1cmの頃に行うと効果が高い。

イ ベンゾイミダゾール系薬剤（トップジンM剤、ベンレート剤等）の耐性菌が一部のカンキツ園で発生しているため、同剤を散布しても効果の認められない場合は使用を中止し、マネージ剤、デラン剤等を用いる。

3 ミカンハダニ

(1) 予報内容

予想発生量	現 況		防除時期
	平年比	前年比	
平年並	並	少	防除の目安を超えたとき

(2) 予報の根拠

3月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は13.6%（平年14.5%）、寄生葉率は0.3%（平年0.7%）、10葉当たり雌成虫数は0.03頭（平年0.2頭）で平年並みであった（±）。

(3) 防除対策

<防除判断>

防除の目安は、寄生葉率が30～40%以上、または雌成虫密度が1葉当たり0.5～1頭である。

<防除のポイント>

発生量はほ場によって大きく異なるため、ほ場を見回り、発生初期の防除を徹底する。

ナ シ

1 黒斑病

(1) 予報内容

予想発生量	現 況		防除時期
	平年比	前年比	
平年並	平年並	多	・りんぼう脱落期 ・開花直前 ・3分咲頃 ・人工交配終了後 ・落花後

(2) 予報の根拠

3月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は30.0%（平年39.1%）、発病芽率0.3%（平年0.2%）で平年並みであった（±）。

(3) 防除対策

< 耕種的防除 >

発病芽は除去して園外へ持ち出し処分する。

< 防除のポイント >

ア 小袋掛けまでの防除が特に重要である。

イ ポリオキシシン剤及びロブラ - ル剤の耐性菌が県内全域で発生しているため、年 1 回程度の使用にとどめる。

果樹全般（モモ、ウメ）

1 カメムシ類（チャバ 初カメシ、ツアカメシ、クサキ カメシ）

(1) 予報内容

予想発生量	現 況		防除時期
	平年比	前年比	
やや多	-	-	園内への飛来確認時

(2) 予報の根拠

ア クサギカメムシの越冬量調査（90 × 90 cm 隙間トラップ 6 か所）では、1 トラップ当たり 6.8 頭（前年 1.5 頭）で前年に比べ多かった（+）。

イ 果樹カメムシ類の越冬量と相関の高い前年のスギ、ヒノキの花粉飛散量は、過去 5 年で最も多かった平成 13 年並みで、越冬量が多いと考えられた（+）。

(3) 防除対策

< 耕種的防除 >

常発園では、ネット（網目 4 mm 以下）で園全体を覆い侵入を防ぐ。

< 防除判断 >

4 月は気温の高い昼間に飛来することが多いので、モモ、ウメなど幼果期にあたる園では、特に平年より気温の高い日は園内を観察し、飛来を確認したら防除する。

タマネギ

1 白色疫病

(1) 予報内容

予想発生量	現 況		防除時期
	平年比	前年比	
平年並	平年並	前年並	発病初期

(2) 予報の根拠

ア 3 月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は 0 %（平年 6.0 %）、発病株率は 0 %

(平年0.2%)で平年並みであった(±)。

イ 気象予報では、4月の降水量は平年並み(±)。

(3) 防除対策

< 耕種的防除等 >

水媒伝染するため、ほ場の排水を良好にし、雨水などの停滞を避ける。

< 防除のポイント >

すでに発生しているほ場では、治療効果のある薬剤(リドミルMZ剤、カーゼートPZ剤、ホライズン剤等)で防除する。

2 ベと病

(1) 予報内容

予想発生量	現 況		防除時期
	平年比	前年比	
平年並	平年並	少	二次感染株発病初期 (平年初発生3月30日)

(2) 予報の根拠

ア 3月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は0%(平年1.0%)、発病株率は0%(0.1%)で平年並みであった(±)。

イ 気象予報では、4月の気温および降水量は平年並みである(±)。

(3) 防除対策

< 耕種的防除等 >

越年り病株の早期発見、抜き取り処分を徹底する。

< 防除のポイント >

ア 二次感染株が見られた場合は、治療効果のある薬剤(リドミルMZ剤、リドミル銅剤、フォリオブラボ剤、カーゼートPZ剤、ホライズン剤等)により直ちに防除を行う。

イ 3月17日付け技術資料第12号を参照。

【その他の病害虫】

作物名	病害虫名	予想発生量	現 況		発生ほ場率		備 考
			平年比	前年比	本年(%)	平年(%)	
タマネギ	軟腐病	平年並	平年並	前年並	0	0.5	
	ボトリチス属菌による葉枯症(白斑葉枯病)	平年並	平年並	前年並	0	7.6	

病虫害・農薬情報

循環型農業メモ

生物農薬を利用した水稻の種子消毒

平成18年3月現在、水稻の種子消毒剤として登録されている生物農薬は、モミゲンキ水和剤、エコホープ、エコホープドライの3剤があります（表）。モミゲンキ剤の有効成分はシュドモナスという細菌で、エコホープ剤の有効成分はトリコデルマという糸状菌です。これらの生物農薬を種もみに処理すると、有効成分である細菌や糸状菌が病原体（いもち病菌やもみ枯細菌病菌など）より速く種もみ上で増殖し、病原体の増殖を抑制することにより効果を発揮します。これらの剤の長所としては次の3点があげられます。

- 1 対象外の有用生物や環境に対する影響が少ない
- 2 化学農薬の耐性菌に対しても有効である
- 3 耐性菌が出現しにくい

なお、いずれの剤も生きた状態で製剤化されていますので、以下のような注意が必要です。

- 1 浸水種時に低水温（10 程度以下）で使用すると効果が不安定になる
- 2 他剤との混用処理は、薬剤の種類により効果が劣る場合がある
- 3 入手後はできるだけ早く使用し、開封後は全て使い切る

表 水稻の種子消毒剤として登録されている生物農薬の適用病害

適用病害 農薬名	いもち病	ごま葉枯病	ばか苗病	もみ枯細菌病	苗立枯細菌病	苗立枯病 (リゾーパス菌)
モミゲンキ水和剤						
エコホープ						
エコホープドライ						

（専門研究員 野崎 匠）

参考

1 予報の見方

(1) 病虫害発生量の基準（原則として過去10年間の発生量と比較）

ア 平年比

多	過去10年間で最も多かった年と同程度以上の発生
少	〃 で最も少なかった年と同程度以下の発生
やや多	〃 で2～3番目に多かった年と同程度の発生
やや少	〃 で2～3番目に少なかった年と同程度の発生
平年並	〃 で標準的にみられた発生（上記4項目を除くもの）

（注：過去の発生量との比較を表わすもので、被害や防除の必要性とは異なる）

イ 前年比

多	平年比の5段階評価で区分し、前年の評価より多い発生
少	〃 前年の評価より少ない発生
前年並	〃 前年の評価と同等の発生（上記2項目を除くもの）

(2) 予報根拠における発生要因の評価基準

+	発生を助長する要因
±	発生の助長及び抑制に影響の少ない要因
-	発生を抑制する要因

2 気象予報

(1) 概要

1 か月気象予報 (3 月 3 1 日福岡管区気象台発表)

予 報	高 い(%) 多 い	平年並(%)	低 い(%) 少 ない
気 温	5 0	3 0	2 0
降 水 量	3 0	4 0	3 0
日照時間	3 0	4 0	3 0

週ごとの気温傾向

予 報	高 い(%)	平年並(%)	低 い(%)
1 週 目	4 0	4 0	2 0
2 週 目	5 0	3 0	2 0
3 ~ 4 週目	3 0	4 0	3 0

ヨロシク

3 4月のテレホンサービスの内容(予定) TEL(083)927-4649

時期	内 容
上旬	4月の発生予報、タマネギ病害の発生状況と防除、カンキツかいよう病の防除
中旬	イネの種子消毒、ムギ病害虫の防除
下旬	イネの種子消毒、ムギ病害虫の防除、タマネギ病害の防除、カンキツかいよう病の防除、ナシ黒斑病の防除